

2. 学習内容について

1. 学習スケジュール

①自宅学習、②面接授業(スクーリング)、③相談援助実習(対象者のみ)の3つにより学習を進めます。

	レポートは学習期間を通し 全13本 提出(1000~1200文字)		
①自宅学習	①現代社会と福祉1 ②地域福祉の理論と方法1 ③地域福祉の理論と方法2	6月15日 締切 (消印有効)	⑥現代社会と福祉2 ⑦相談援助の理論と方法3 ⑧相談援助の理論と方法4
		7月15日 締切 (消印有効)	9月15日 締切 (消印有効)
	④相談援助の理論と方法1 ⑤相談援助の理論と方法2	7月31日 締切 (消印有効)	⑨相談援助演習1 ⑩相談援助演習2 ⑪相談援助演習3 ⑫相談援助演習4 ⑬相談援助演習5
			各スクーリング終了後、3週間以内に提出
②面接授業(スクーリング)	相談援助演習(土日祝2日間×3回) ※葉山会場は3日間連続×2回		卒業 国家試験
③相談援助実習(対象者のみ)	23日以上(180時間以上) ※相談援助実習の対象者は別途5日間の面接授業の出席が必要		
試験対策(予定)	試験対策講座【有料】(年2回。東京、大阪) 試験対策重点講義【有料】(年2回。葉山会場) 全国統一模擬試験【有料】(年1回) 試験対策メールニュースの配信、オリジナル試験対策資料の配布、 合格の秘訣ビデオレターの配信、専用ホームページの開設		

2. 自宅学習

2学期に分けた学習期間の中で、テキストを中心に学んでいきます。学期ごとに定められた科目を学習した上で、論述式のレポートを合計**13本**作成して提出します。

提出されたレポートは、指導講師により添削指導・評価が行われます。